

下肢（足）閉塞動脈硬化症について/連携機関のお知らせ

透析を受けている方は下肢閉塞動脈硬化症により足の血流不良、しびれや痛み、歩行困難、潰瘍などがおきる危険があります。また、足の動脈硬化は心筋梗塞や脳卒中などの全身の動脈硬化とも関連しています。

当院では、下肢（足）閉塞性動脈硬化症の予防、早期発見、早期治療に努めます。

さらに専門治療を必要とする場合は、下記の医療機関と連携して診療を行っています。

専門連携医療機関

大分県立病院
社会医療法人 大分岡病院
大分医師会立 アルメイダ病院
大分大学医学部附属病院

2016年4月1日